

山梨大学のダブルダッチサークル
「跳繩舞」の副リーダー
清水 虎太郎さん

みんなで教えあって
上手くなるんだ!!

みんな驚くほど覚えが早く、跳べた時は本当にうれしそうで、とてもいい顔をしています。うまく跳べない人がいると、みんなで応援したり、「こうすればいいよ」と教えあったりもしていて、なわとびを通していろんなことを学んでくれていて、とてもうれしいです。私たちにとっても、元氣ッズはとても楽しい時間です。



2本のなわとび(ダブルダッチ)に挑戦(甲府市立新田小学校)

キッズ
ニュース

スポーツ大好き
キッズ集合!

元気にスポーツを楽しもう!

昨年(2019年)の北京オリンピックでは、多くの日本の選手が活躍していたよね。あのすごい選手たちも、きっと子どものころ大好きなスポーツに出会って頑張ったから、今の活躍があるんだろうね。次の次くらいのオリンピックには、君たちの中から日本代表選手が生まれているかもしれないよ。大きな夢に向かって、まずは元気にスポーツを楽しむことから始めてみよう!



スポーツは、心と体を強くするよ!

みんなは、毎日、体を動かしている? 放課後、友達となわとびするとか、スポーツ選手を目指して練習を頑張ったりとか...
スポーツは、健康で丈夫な体と強い心をつくるんだよ。
まずは自分にあつたスポーツを始めてみようよ。

「元氣ッズクラブ」で、楽しくスポーツ!

県内の小学生にいろいろなスポーツに親しんでもらうために、平成19年から21年にかけて「スポーツ大好きキッズ育成事業」が行われているんだ。これは、中学校や高校のクラブ活動のように、放課後、お友達とスポーツすることなんだよ。
今、県内の5つの小学校では「元氣ッズクラブ」の名前で、サッカーや陸上、なわとびなどのスポーツを楽しんでいるんだよ。教えてくれるのは、学校の先生や地域の大学生たち。このクラブでは、スポーツを通して、仲間づくりも大切に行っているんだよ。



運動してる時、みんなとってもいい顔です。

ボールも子どもたちはずんでたよ!!

夢や目標に向かって頑張る! 「スポーツ少年団」

みんなの学校や地域に、スポーツ少年団ってあるよね? 野球やサッカー、バスケットボールなど、大会や試合に出場することを目標に練習をしているよね。
ひとつの目標に向かって頑張ると、とっても大変なことだけれど、試合に勝ったときは、とってもうれしいよね。それに練習を一生懸命に頑張ることで辛いことがあっても負けない強い心をつくるんだよ。そして何より一緒に頑張る仲間がいるのがスポーツ少年団の楽しさなんだよ。

今回は、「元氣ッズクラブ」でスポーツを楽しんでいるお友達と「スポーツ少年団」で大きな夢に向かって練習を頑張っているお友達に会いに行ってきました。



「元氣ッズクラブ」のモデル校となっている、甲府市にある新田小学校を訪れてみたよ。この日は、山梨大学の学生が先生になって、ダブルダッチという2本のなわとびに挑戦していたよ。
難しそうに見えるダブルダッチだけど、教えてもらうとみんなすぐに跳べるようになって、とても楽しそう! 跳んでいる時はもちろん、お友達が跳ぶのを見ている時も、みんな目が輝いていたよ。
女の子は「初めはちょっと怖かったけど、跳べるとすごく楽しい。また参加したい!」

と、とても気に入った様子。男の子も「運動はあまり得意ではないけど、元氣ッズクラブは楽しくできるから好き」と、自分に合ったスポーツの楽しみ方を発見したみたいだったよ。
「目下ミニバスケットボール」のお友達はみんな元氣いっぱい!
山梨市の目下ミニバスケットボール女子スポーツ少年団は団員13名。小学校の低学年から高学年までのお友達が、一生懸命に練習に励んでいたよ。いっぱい汗をかきながら練習に打ち込んでいる姿はとてもはつらつとしていて、生き生きとしていたよ。

スポーツ活動を通して、社会を生き抜く力や決断する力を育ててほしいです。

目下ミニバスケットボール女子スポーツ少年団指導者 丸山 俊文さん



シュートが決まるようになって、さらにバスケが楽しくなりました!

目下ミニバスケットボール女子スポーツ少年団キャプテン 坂本 真愛さん



バスケットボールをしていて楽しいのは、やっぱり試合でシュートを決めた時です。それに仲間と一緒にプレーできるのも楽しいです。はじめてから3年がたち、だんだんシュートが決まるようになって、バスケットボールをするのがさらに楽しくなってきました。目標は女子日本リーグの山梨クィーンビーズの選手のようなプレーをすること。中学に行ってもぜひ続けたいと思います。

指導して12年になりますが、何事も一生懸命やるからこそ楽しいんだ、ということ伝えて、ここまで取り組んできました。入団当初はおとなしかった子が、バスケを通して自信をつけ、学校でも児童会役員をするようになるなど、子どもたちの成長していく様子が分かるのが何より楽しいですね。
これからも活動を通して、技術、体力だけでなく、大人になって競争社会を生き抜いていく力、自分で判断し、決断する力を育ててほしいと思っています。

第2回 スポーツ少年団フェスティバル参加者募集

実行委員会へ直接、郵送・FAX・メールのいずれかで申し込んで下さい。
○締切日/平成21年3月6日(金) 必着
○申し込み・問い合わせ先/ (財)山梨県体育協会スポーツ振興課内 第2回スポーツ少年団フェスティバル実行委員会事務局 〒400-0836 甲府市小瀬町840 ☎055-243-8588 ☎055-243-8599 メール yamanashiken@japan-sports.or.jp



スポーツを楽しむ心を大切に!

私は白根東小学校の4年生の時にクラブ活動でホッケーを始め、それ以来、ホッケーとともに歩んできています。
厳しい体カトレーニングやなかなか勝利できない時など、苦しいと思う時たくさんありましたが、負けず嫌いな性格とホッケーが好きという気持ち、そしてやっぱり一緒に頑張る仲間がいたので続けてこれました。
いろんな選手がいる中で、2回連続でオリンピック選手に選ばれたことはとてもうれしいです。選ばれるために努力するその精神力や、1つのことを成し遂げようとする気持ちは、今後につながるものだと思います。
ホッケーに限らず、スポーツは楽しむ心があるからこそ、打ち込めるものです。みなさんもぜひスポーツを楽しみ、目標に向かって頑張ってください。

message from:
アテネ五輪・北京五輪
女子ホッケー日本代表選手
南アルプス市出身
ソニー宮
プラビアレディース
千葉 香織さん

